

俳優らによる魅力的な動画教材

認知症の人への接し方、道に迷っている高齢者への対応方法など、わかりやすく親しみやすい動画教材を随所に使用。

「良い例」と「悪い例」のストーリーをそれぞれ見ることにより、対応方法の工夫で反応が劇的に変化する様子を学習。

各動画は、すべて企画・制作者らの実体験に基づいており、また舞台俳優らの出演・演出により、とてもリアルで感情も伝わりやすい。

認知症カフェや、グループホームでのボランティア活動を希望する認知症サポーターのステップアップ研修はもちろん、徘徊対応や認知症の人を支えるための地域学習会の教材としても最適な視聴覚教材。



認知症が強く疑われる高齢女性、「あとは一人で帰れませう」と言うが、このまま別れてしまっても大丈夫？！

- 1 講座のねらいとすすめ方
- 2 認知症を知って接し方を学ぼう
- 3 楽しい時間を一緒に過ごすためのアイデア
- 4 個人情報保護と事故防止
- 5 徘徊SOS
- 6 あなたのまちに「認知症カフェ」を
- 7 社会資源の活用
- 7 社会資源の活用_デイサービス

教材の利用には、Power Point (2013 以降を推奨) が使用可能なPCと、動画音声用の音響装置 (イヤホンジャックとスピーカーシステムを接続するなど) が必要です。



企画・制作：群馬県立県民健康科学大学
地域連携センター・看護学部

〒371-0052 前橋市上沖町323-1

電話：027(235)1211(代表)

FAX：027(235)2501(代表)



認知症サポーター ステップアップ講座 教材



群馬県健康福祉部地域包括ケア推進室



企画・制作：群馬県立県民健康科学大学
地域連携センター・看護学部

「認知症施策推進総合戦略～認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて～」(新オレンジプラン) に基づく教材開発事業
平成29年6月 USBメモリにて県内各市町村に配布(予定)

実習を含め、3日間で学ぶ「交流体験総合コース」

認知症カフェやグループホームなどでボランティアとして活動したいという意欲がある方に向け、教材1～7のすべてを使って学習し、2日目には体験実習を組み入れたフルメニューの学習コース。

*コースの詳細については、教材内の概要ファイルをご覧ください。

＜気になる中身をちょっとご紹介＞

教材1では、ボランティアとして認知症の人と交流することの魅力ややりがいを紹介。認知症の人たちが与えてくれる、たくさんの笑顔や優しさに感激！



帰宅願望を示す人に対して、接し方を間違えると、興奮の火に油を注ぐことに・・・

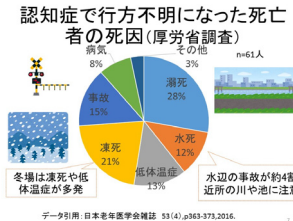
教材2では、認知症についてくわしく学び、認知症の人への接し方のポイントを学習。接し方の違いで、反応が劇的に変化する様子は必見！

教材3では、認知症の人と楽しい時間を過ごすためのアイデアや工夫を紹介。回想法や地図パズル、紙芝居など、オススメはいろいろ。



地域の写真集を手がかりとした回想法の様子。認知症の人が先生、ボランティアが生徒となり、一緒に時間旅行に出かけます。昔の美しい街並みや生活について、いきいきと語る姿に感激！

教材4では、ボランティア活動に不可欠な個人情報保護や事故防止について学習。ちょっと目を離した際に起こる異食や行方不明の恐怖を疑似体験・・・



教材5では、認知症で行方不明になり、亡くなった方に関する調査結果などを紹介し、地域での声かけの重要性を考える機会に。



認知症カフェでボランティアとして活躍するみなさん

教材6では、認知症カフェの様子やボランティアとして参加するみなさんの声を紹介。

教材7では、認知症の人が地域で生活してゆく上で、安全や安心につながる社会資源を紹介。「お互い様」精神の大切さとその難しさについても考え、住みやすい地域づくりについて、参加者同士で意見交換。

まずは学びたいところだけ 1～2日間で行う「選択コース」

学習ニーズや日程に合わせ、3日間の交流体験総合コースから実習を省略し、1～2日間で実施する選択コース。以下の学習ニーズ例のように、まずは1つの教材を使って、45～60分程度の講座を行うのもオススメで



学習ニーズに合わせて、学びたいところだけ、自由に使っていいんです！

学習ニーズに合わせた講座プログラム例

・学習ニーズ例① 「認知症の人の徘徊に伴う事故や行方不明の防止に向けて地域住民の学習会を開催したい」

→教材5をベースに、各市町村で内容を追加

・学習ニーズ② 「認知症に関する基礎的な事項を学習し、接し方のポイントについて学習したい」

→教材2をベースに、各市町村で内容を追加

・学習ニーズ③ 「認知症カフェやグループホームでのボランティア希望者向けに半日程度の講座を開催したい」

→教材4をベースに、講義時間や学習者の特性に合わせて教材2・3・6の使用を検討。2日間使えるなら、教材1～7のすべてがオススメ！